



## 今は仮舗装です

### 本舗装には六か月以上の自然転圧が必要

当市の公共下水道事業は、五年計画で市街地の下水道管渠を整備し、市民生活環境の改善を図るよう早期完成に向け実施しています。

### 下水管を布設した後路面のでこぼこがひどいようですが……

市民希望の下水道工事が着工され、早期完成を期待していますが、下水管を布設した後、路面のでこぼこがひどいようです。もっと完全な復旧ができないものでしょうか。  
(御幸町・一市民)

地域の皆さまの深いご理解とご協力を得ながら着々と工事を進めておりますが、ご承知のとおり下水管は深く埋設するため、機械などで十分締め固めを行っていても、元の路床に戻すためには、最低六か月以上自然転圧することが必要です。

従って、下水道工事で行う復旧舗装は最初から本復旧(本舗装)をせず、一担仮舗装をして、十分自然転圧がされた後に本復旧をすることにしております。

このようなことから、場所によ

つては地盤が沈下したりして、市民の皆さま方に大変ご迷惑をかける場合もありますが、市の下水道事業所では定期的にパトロールを実施して、道路の破損、沈下等の場所を早期に発見して悪路や危険箇所の補修を行い、事故防止と安全対策に万全を期しておりますので、本復旧までの間、しばらくご辛抱ください。

なお、公共下水道工事についてお気付きのことがありましたら、市下水道事業所(番五四一―一―一内線三九三)へご連絡ください。今後とも、より一層のご協力をお願いいたします。(市下水道事業所)

## 総合行政相談のごあんない

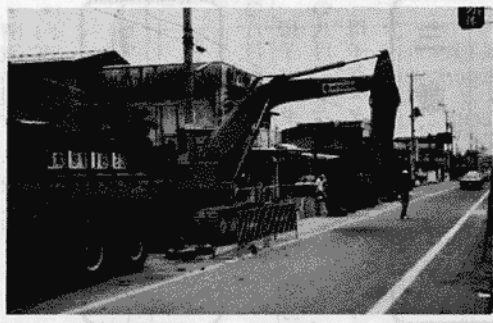
県中央県民センターでは、次の日程で総合行政相談を行います。

この相談は、みなさまが日常生活で困っていることや、県あるいは市に対する意見、苦情、要望などについての相談です。お気軽においでください。

●とき 八月二十七日(金) 午前十時から午後三時まで

●ところ 清滝公民館

●相談員 県民相談員、行政相談委員、民生委員、市民相談室職員ほか



## 多忙な父親

東京都立大学教授 託摩武俊

母親の中には、夕方早く帰宅し日曜日はいうまでもなく平日でも、子供とよく遊んでくれる父親がいない父親だと思っている人がいます。

自分たちの子供だから、育児は二人の親が平等に時間を割くべきだと主張する人もいます。

このようなことを聞くと、子供が好きなのに仕事に追われて、自宅にいる時間が少ない父親は悲しくなります。なかには罪責感にとらわれる人もいます。

男性の生涯で三十代、四十代というのは最も活力にあふれた充実した時期です。仕事の上でも重要な役割を果たすようになり、仕事そのものに生きがいを見いだすようにもなります。この年代のときに、毎晩六時前には帰宅している父親よりも、ときには深夜になってからでないと帰ってこない父親の方が、職業をもつ男性としては頼もしく、また、発展性があるのではないかと思います。

逃げ口上です。しかし、早く帰宅をして子供の顔が見たいのにそれができないことがあります。父と子供の接触は量よりも質が大事です。いつも自宅にいるが不嫌な父親よりも、たまにしかないがそのときは好機嫌な父親の方がよほどいい影響を子供に与えます。平日が多忙な父親は休日十分子供と遊んでください。

子供は自分の父についてある印象をつくり、こんな人と思っっています。これは父から直接得た印象だけでなく、父の不在の折に母親が子供に夫のことをどう話すかによって著しく左右されます。自分の夫のことを子供に悪く言う母親のもとでいい家庭教育を期待するのは難しいことなのです。